伊方町の子どもたちの体力・運動能力について

令和６年４月～７月にかけて、全国の小学校５年生と中学校２年生を対象として、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が実施されました。町内児童生徒の結果は以下のとおりです。小中学生の一部の結果ではありますが、各小中学校では、結果を参考にして今後の活動に取り組んでいきます。ご家庭や地域でも体力の向上等に向けてご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

１　全国体力・運動能力、運動習慣等調査

(1) 調査の目的

ア　国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

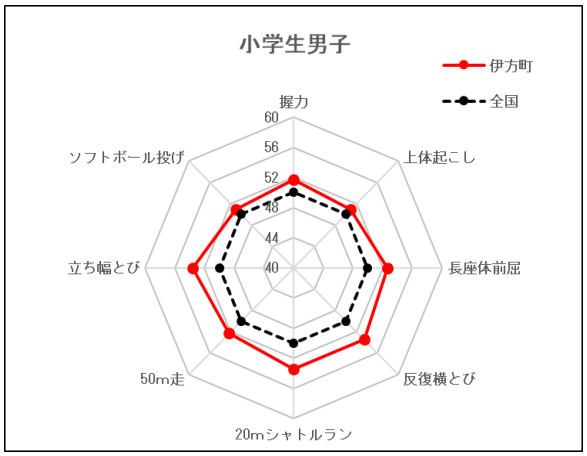
イ　各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

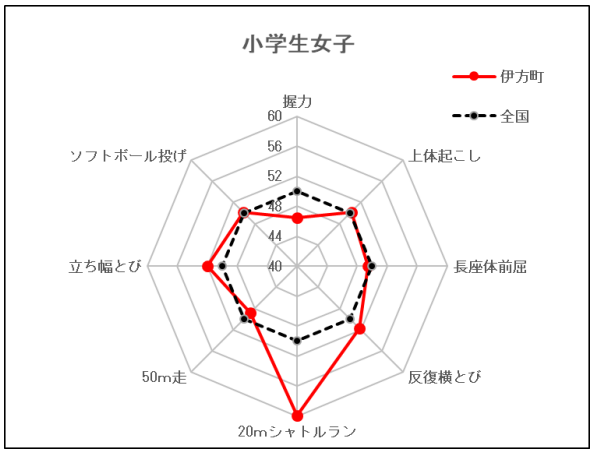
(2) 調査の対象

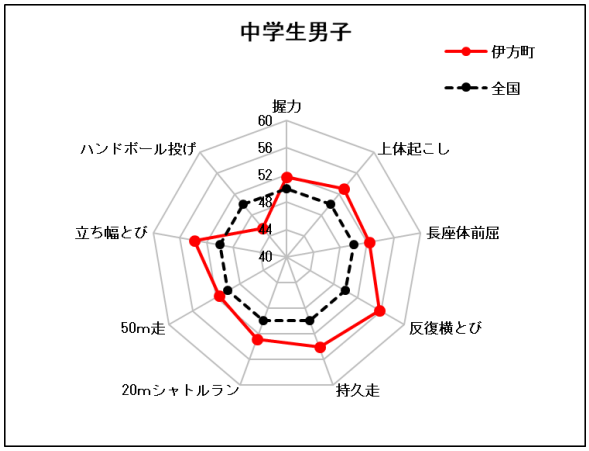
小学校第５学年、中学校第２学年

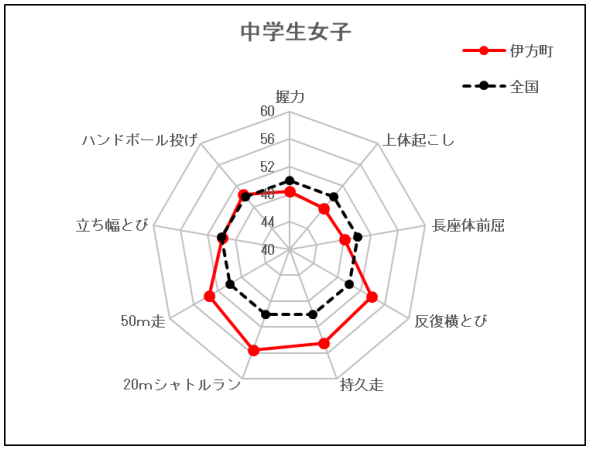
(3) 各種目に関する調査結果（全国を 50 としたとき）

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
伊方町	53.3	50.7	52.0	51.2









(4) 考察

○　小学校は、男子が全ての種目において全国平均を上回っている。女子は、上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げは、全国平均を上回っている。

○　中学校は、男子がハンドボール投げ以外で全国平均を上回っている。女子は、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、ハンドボール投げは、全国平均を上回っている。

○　児童生徒質問紙から、全国平均と比べて小学校では、「朝食を毎日食べる」の割合が低く、中学校では、「体力向上についての目標を設定している」の割合が低い傾向がある。運動やスポーツを行うことは、楽しさや喜びを味わうことに加え、体力の向上へとつながる。今後は、学校と家庭の連携に加え、地域の協力も得ながら、児童生徒の生活習慣の改善と良好な運動習慣の形成に努める必要がある。